

0521.

新紙添付

小義第四五号

熊本鉄工所及東製鋼所に関する調査の件回答

昭和三年十月十八日

技術整理部兵本課係中

第一復員局小倉出張所

先般秋山囑託貴地出張の節依頼せられたる首題調査の件
取敢て電報にて回答致し置きたるに、詳細は別紙調書の通
りにて承知せられたるに、

十月二十二日

英譯の上、フライムニス
博士に回答済



0520

160

0521

新紙透紙

小義第四五号

熊本鉄工所及東製鋼所に關す

昭和三年十月十八日

第一復員

技術整理部兵本課中

先般秋山囑託貴地出張の節依頼
取敢テ電報トシ回答致シ置キタル
事付承知されシ

四 終戦後拂下見交付材料 半途品ナシ

軍需品代金徴収未済ニ係ル件数金額調書別紙

第五ノ如シ

第四 前回検査後ニ於ケル處理及之カ進捗ノ状況

特ニ審理書ニ對スル處理

前回検査ニ於テ注意點ニ審理書ヲ受ケタル事項ニ關シテハ

特ニ御指示ニ從ヒ整理ヲ促進シツツアリ

就中前金並ニ拂下代金ノ回收整理ニ就テハ数次ニ互リ

督促ニ逐次成果ヲ収メツツアリ

菜種油ヲ作業費物而シテ陸軍ニ引付金具施シタル事項

ニ關シテハ當部ノ解釋誤リナルヲ後日發見セシニ付正當

別紙

問

(復員局)
(小遣出張所)

(1) 終戦後、管理区分如何

(2) 本社、名稱、所在地及び工場
(3) 工場、名稱、所在地、ワイヤ

(4) 責任者ノ氏名

(5) 製造品目及其数量

五、熊本鉄工所、機械設備
如何ナル機関、返還シラユ

熊本 鉄工所

陸軍省行政本部及航空本部

熊本市春日町三三三七番地

熊本鉄工所

沙馬工場 (春日工場)
田迎工場

取締役社長 中山道彌夫

終戦後、中口径彈丸月産約五五〇〇

機械如何ナル機関ニモ返還セズ
焼損セル、旧大正製鋼工場ニ現存ス

東 製鋼

陸軍航空本部監督工場

終戦直前熊本工場、陸軍直轄
第五〇五〇工場

東京都足立区千住曙町九番地

東 鋼業株式会社

熊本工場 熊本縣下益城郡
豊野村大字山崎

専務取締役 鶴川澤太郎
熊本工場長 中島義孝

東京本社より千住製鋼部へ熊本
疎開、工事進捗率約三〇%ニテ終戦ト
ナリトシテ各製場ニ全生産品出スル
至ラズ

0523

三司本部ニテ熊本軍務部
迄還ヤリトテ記録アリ
見解如何

該為機密保存ノ現況

六 東京製鋼ノ下釜城郡豊野村
（五）大牟山崎ニテ熊本工場ノ建物
（ニ）ツイテ

鉄鋼工場建物ノ管理現況

終戦直後陸軍監理官ニテ彈丸ノ
半途品ヲ熊本師團兵務部
引継シクルニトアリ、或ハ本件ノ謄傳
ナラズ

大正工場ニテ新形ヲ置キ監視セシム
本年九月上旬頃、野務高次郎等
機密ヲ登載スルヲメト稍ニ視察
確認セラレタリ

旧折場ニ大政陸軍航空補給廠福岡支所
使用部隊ハ第三四二〇部隊環ノ隊
建物工事ハ陸軍航空本部西部施設
部隊（隊長坂本少佐）ニテ
昭和二十年六月下旬着工
工場建物外四五件工事
木造平葺建坪近一〇九二坪
土地借上 敷地面積二四一〇九坪
現在熊本野務高次郎子管理
シヤ

0524

建物保存ノ現況

七、特ニ會社ノ建築費又ハ
（シ） 諸ノ差出セル藉金ノ内容ニ
ツイテ

終戦後、戦前ノ資料ノ整理等々
氏等建築費、購機申請等ノ事ヲ
調査、報告、若シテ多數提出シテ

終戦以後、氏等産業轉換ノ申請ヲ
ナシ、最近事業開始ノ目途ヲ得ルニ至リ
現在會社員約四五名勤務シテ
建物ハ急遽セルバ、ラウニテ損壞甚カク
キモ修理ノ上、使用シテ
又半地下室、東物敷棟、内ニ棟
腐蝕ノ為、使用不能ナリ
會社ノ財務向、是ニ時、債團許可額
提出シテ

十月上旬、司令部經濟科ヨリ、
出頭ノ命セラル、熊本工場官協社員
出席ス、キヤトキ、協機関係ニ就テ
質問ヲ受ケ、終戦後、多クノ困難ナリ
親シクシテ、詳解セラル

④ 此時、建前ノ質問アリ、右官協
社員、多數、以テ、或ハ此後ノ件、
解決セラル、ト思科

0525

熊本鉄工所

社長 橋本 長平 出張 石版

親の人

工場 長平 小山 長平

東鋼業

工場 出張 石版

親の人

社員 島 脇 勝 海

0526

報

一四
リム一三九
ワカッテ
フクインギヨク
クサカリシムカ
三三
三二
二一
二二

クサカリシムカ
フクインギヨク
ワカッテ
リム一三九

長

東
工業山崎工場建物ノ旧所屋ハ大阪航空補給廠福岡支所現在

財務局
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

三〇



0527

99

九九
ウナムニ
イイチフクインキヨク
ヘイホンカチヨウ

航空補給廠福岡支所ノ轄下ニ属シテモ、ハ西部施設部

隊ヨリ建築費ハ必戦タル 電話浅草三十九七本社ニ向合セシキ

ウナムニ

コウクウホキウシヨフクオカシシヨウノレイカニソクシタ
ハセイア シセツア タイニヨリケンチクナカハ シウセントナル
テ、ンワアサクサ三六九七ホンシヤニトヒアワセラレタシ「アズ
マセイコウ

コ三、一〇 六 六



0528

56
15
280

軍令部	海軍省		氣象	測量	武官府	部附	軍調	參航	陸大	史編	報道	中調	部三	部二	部一	二十班	經理	電報	副官	總長						
大東亞	外務省	多研	兵行政	機本	航本	教總	防總	醫事	衛生	建築	衣糧	主計	交通	燃料	戰備	馬政	防衛	兵備	兵務	軍務	軍事	功調	恩賞	補任	官房	秘書

電報		宛報		發信者		熊本財務局	
電第	號	電第	號	發信者	熊本財務局	提出	交付
小倉造兵廠了熊本鉄工所貸與シテホール務 云々依然同所ヲ保償ニテイル							

番號	總務課	主任	電報班
點歸主任者	課	點歸主任者	點檢配布

班長	點檢者	翻譯者	交付
(3)			



0529

軍刀報國ニ就テ

東京市牛込區若松町 陸軍兵器行政本部内

將校軍刀鑑査委員會

電話九段(33)一五二一九番

大和心ト日本刀、之レ程日本人ニ感銘ノ深イモノハアリマセン。コノ二ツガ一ツニナツタ皇軍獨特ノ白兵戰ハ世界ノ驚異ノ的トナツテ居マス。日本刀ヲ振り翳シ、敵陣深ク突入シテ行ク我が忠勇ナル將士ノ軍刀ハ最モヨク斬レテ、折レナイ、曲ラナイ大丈夫ナモノデナクテハナリマセン

ケレドモ今日實用トシテ申分ノナイ軍刀ノ不足ハ、相當深刻ナモノガアルト言ハネバナリマセン

本會ハ此軍刀ヲ、多量ニ供給シ其生産ヲ指導スル爲ニ設立サレマシタ。軍トシテハ今ヤ新作日本刀ノ多量生産ヲ企圖シ、着々トシテ整備シテ居リマスガ、如何シテモ此大作戰ニ應ズル爲ニハ尙古作日本刀ヲ以テ之ヲ補ハネバナラナイ現狀ニアリマス。

此秋コソ、全國ノ藏刀諸家ガ、出征將士ガ生命ト頼ム日本刀ヲ欣然トシテ御提供下サルコトヲ御願ヒシナケレバナリマセン。之レ又銃後國民ノ今日盡ス責務ト思ヒマス。

茲ニ本會ハ府縣、大政翼賛會、在郷軍人會等ノ後援ヲ得テ、軍刀報國ノ運動ヲ起シ、普ク銃後國民各位ニ對シ、之ガ遂行ニ總力ヲ舉ゲ、此處ニモ翼賛ノ誠ヲ示サレンコトヲ御願ヒ致ス次第デアリマス。

【提供刀ノ資格】 提供刀ハ、刃渡リ一尺八寸以上デ、軍刀ニ適スルモノヲ、適正ナ價格ヲ以テ買受ケマス。然シ鑑査ノ上、五百圓以上ト認メラレルモノヤ、國寶的ナ名刀ハ勿論、歴史的價值高イモノハ、皇國ノ爲ニ御保存ヲ御願ヒ致スコトニシテ居リマス。提供刀ニハ明瞭ニ住所氏名ノ札ヲ附ケテ下サイ。

【提供刀ノ取扱】 便宜上府縣等ヨリ皆様へ集メル日時、場所等ガ示サレマス。其處へ鑑査委員ガ出張シ、豫備鑑査ヲ行ヒ假ニ合格シタ刀ノミ本會へ送りマス。本會デハ嚴正ナ鑑査ト、適正ナ評價ヲシ、合格ヲ決定シマス。

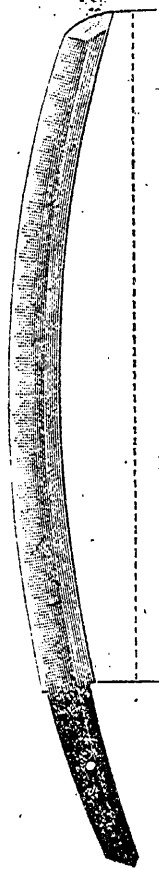
【評價通牒ト代金支拂】 合格シタ日本刀ハ提供者ニ對シ、府縣等ヲ通ジテ評價額ヲ御知ラセ致シ、軍人會館ヲシテ送金サセマス。

斯クシテ提供サレタ日本刀ハ、研ギ、外裝ヲシテ立派ナ軍刀トシ、皇軍將校ニ頒布サレ戰場へ向ヒマス。

【不採用刀ノ處置】 鑑査ノ結果不採用トナツタ刀ハ、其ノ理由ヲ記シ、府縣等ヲ通ジ提供者へ御返シ致シマス。

【持(外裝)】 拵ハ軍刀トシテ不用デアリマスガ、御希望ニ應ジ刀身ト共ニ買受ケマス。

一尺八寸以上



1531

陸軍第五技術研究所の活動状況に關する件
昭和三年十月十四日
第一總務局長
總務局長殿

總連發第一三三號

陸軍第五技術研究所の活動状況に關する件

昭和三年十月十四日

第一總務局長

總務局長殿

一 参照文書

七月十日附 第二部 マイヤース大佐發

覽書

二 首題の件に關する報告書別冊(三部)の通

り提出する。

(補証紙八・東京)

0532 8870

二部均あり

11. 細野氏系一書あり 櫻子氏監事(川島)に送

奉りし

1. 米島氏 九十四日家 櫻子氏一書
トーカー大行

袋文時給母米地等色 櫻子氏 取巻

袋文川時一十四十日 櫻子氏 櫻子氏

袋文川時一十四十日 櫻子氏 櫻子氏

袋文川時一十三日

0233 8850